

報告事項 ウ

令和元年度「英語力向上事業」（英検 I B A）結果概要・授業改善ポイントについて

令和元年度「英語力向上事業」（英検 I B A）結果概要・授業改善ポイントについて、別紙のとおり報告します。

令和2年6月3日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

新学習指導要領全面実施を踏まえた「学びの改革」

鳥取県教育委員会小中学校課

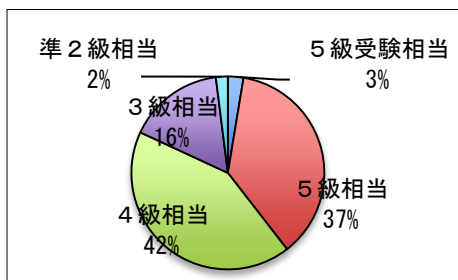
鳥取県内の中学生の英語力向上に向けて、令和元年度から県内全ての中学校2年生、義務教育学校8年生が外部試験(英検 IBA)を受験する取組を始めました。生徒の英語学習への意欲の向上と、各学校での授業改善を図ることをねらいとしています。鳥取県教育委員会は、県全体の結果を踏まえ、鳥取県の中学生の英語力向上に係る取組を進めます。

令和元年度「英語力向上事業」(英検 IBA) 結果概要

- 受験時期 令和元年11月5日～令和2年2月17日
- 受験校数 56校 テストD(英検3～5級レベル) 受験39校、テストE(英検4～5級レベル) 受験17校
- 出題分野別正答率 ※本テストではスピーキングやライティングの力を測る問題はありません。

出題分野	テストD(3～5級レベル) 平均正答率(最高正答率)	テストE(4～5級レベル) 平均正答率(最高正答率)
リーディング(語彙・熟語・文法)	62.8%(73.5%)	77.6%(84.3%)
リーディング(読解)	58.8%(71.7%)	73.8%(83.1%)
リスニング	63.8%(72.7%)	78.2%(84.0%)

- 英検相当数の割合 ※国が目指す生徒の英語力(中学3年12月段階)⇒英検3級以上相当50%以上



<鳥取県全体の特徴>

- ・ 中学初級～中級程度の語彙、熟語、文法及びリスニング力については、おおむね習得されている。
- ・ 他の分野と比べてリーディング(読解)の正答率が低く、正答率ごとの人数分布のばらつきが顕著である。
- ・ 同一校内における分野別正答率に高い相関がみられる。

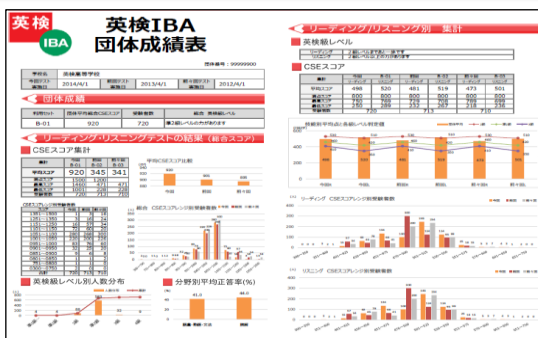
まとまりのある文章を読んで①必要な情報を的確に把握し、問われている内容に適切に答える力、②英語の問いに英語でスピーディーに答える力に課題がある。

令和3年度全面実施の新学習指導要領においては、「読むこと」の目標について、「日常的な話題について必要な情報を読み取ることができるようにする」「日常的な話題について文章の概要を捉えることができるようにする」「社会的な話題について文章の要点を捉えることができるようにする」と示されています。逐語的な読みから脱却し、目的を持って読ませることが大切です。また、日々の授業における言語活動を工夫すると同時に、生徒の実態に合った語句や文で書かれた英文を、最初から最後まで通して読む機会をできるだけたくさん設定することが必要です。(「読むこと」の領域を中心にした授業改善のポイント⇒裏面)



Point

各学校で「団体成績表」を活用して結果を分析し、授業改善を図りましょう



平均スコア、最高及び最低スコアの推移が確認できます。

分野別の人数分布や経年変化が確認できます。

学年担当者だけでなく、英語科全体で結果を分析(Research)し、自校の強みや課題点を明らかにして学校全体で授業改善に取り組むことが大切です。

外部試験等を活用したRPDCAサイクルによる授業改善の流れ(イメージ)



「読むこと」の領域を中心とした授業改善ポイント&言語活動例

①できるだけ現実に近い場面を設定して英文を示し、必要な情報を捉えさせる。

<言語活動例>

- 複数示された簡単な語句や短い文で書かれたイベントのパンフレットから、情報を読み取って自分の予定や好みに合ったイベントを探す。

小学校外国語・外国語活動で扱った内容や、どの程度情報を得ることができていたか、確認しましょう。

②まとまりのある文章をはじめから終わりまで読んで、概要を把握させる。

<言語活動例>

- ペアで5W1Hを用いて、英語でやり取りをしながら読む。
- 出来事を時系列で整理し、絵や簡単な英語で表現する。

時を表す語句や、接続詞に注目させましょう。活動の際に学習形態を工夫しましょう。

③まとまりのある文章をはじめから終わりまで読んで、要点を把握させる。

<言語活動例>

- 環境問題等社会的な問題について書かれた説明文を読み、筆者の最も言いたいことを適切に把握する。
- 筆者の主張をまとめ、内容に対する感想や自分ができることなどについて、ペアやグループで伝え合ったり、書いて表現したりする。

図表を参考にしたり、so, therefore など、結果を導く表現に注目したりしましょう。

【例】「②まとまりのある文章をはじめから終わりまで読んで、概要を把握させる」授業展開

【参考】日本英語検定協会提供「英検 IBA 問題見本」テストD リーディング問題3

A Happy Ending

Ann and Susan went shopping yesterday. They went to a department store. There were a lot of people in the store because there was a big sale.

Ann found a nice pair of shoes. Susan bought a lovely red coat. Then they saw a small boy near the door. He was crying. "What's wrong?" they asked him. "I can't find my mom," he said. "What's your name?" Susan asked the boy. "My name's Jimmy Brown," he answered. So Susan said, "OK, Jimmy. Let's go and find your mother." Then Susan and Ann took him to the information desk.

A few minutes later, a woman came to the information desk. When Jimmy saw her, he ran to her. He was very glad to see her. The woman spoke to Ann and Susan. "My name's Mrs. Brown," she said. "I'm Jimmy's mother. Thank you so much." Ann and Susan felt very happy.



Before Reading

本文を読む前に場面・状況(場所や登場人物)を示し、タイトルから話の筋を予想させる。

While Reading

最初から最後まで通して読ませる。人物、時、場所を表す語に注目させる。

生徒同士や教師と生徒の英問英答によるやり取りを行い、5W1Hを中心に内容を確認する。

After Reading

イラストと簡単な英語で場面を説明させる。
What did Ann buy?
She bought...

生徒の発想や気づきを大切に、英語でやり取りをしながら進めましょう。生徒の実態に応じて、タイトルから話の筋を想像させたり、読んだ後に話の流れに沿ってイラストを並べ替えたりする活動を行うことも考えられます。



「個人成績表」を活用して、生徒の英語学習への意欲の向上、英語力向上につなげましょう。

※この個人成績表は見本です。

英検級レベル判定 (一次試験)	
総合	3級レベルの力があります。
リーディング	2級レベルの力があります。
リスニング	3級レベルの力があります。
技能別	英検級レベル表示
総合	3級
リーディング	2級
リスニング	3級
あなたができること - 英検Can-doリストから - あなたがしたいことは、あなた自身でできる自信があります。今、できることよりも将来的にはできる能力は身につけていきます。頑張ってください！	
分野別学習アドバイス 各分野の成績をもとに学習アドバイスを提案しています。習得の程度や、いつかの学習の参考にしてください。	
総合	学習の得意分野を伸ばし、苦手分野を克服するための学習方法を提案しています。
リーディング	リーディングの得意分野を伸ばし、苦手分野を克服するための学習方法を提案しています。
リスニング	リスニングの得意分野を伸ばし、苦手分野を克服するための学習方法を提案しています。

正答率だけでなく、以下のポイントに生徒が目を向けるように支援し、「自立した学習者」としての成長を促しましょう。



自分の英語力を英検相当級で客観的に確認できます。様々な外部試験に挑戦して英語力を伸ばすことを促したり、学習のアドバイスをしたりする際に活用できます。

英検 CAN-DO リストをもとに英語を使ってできることが示されます。「できること」に目を向けさせ、英語を使うことへの意欲や自信につなげましょう。日常生活の中で実際に英語を使う場面はあまり多くはありませんが、授業における言語活動を充実させたり、ALTの先生とのやり取りを促したりする等、英語を使う場面を設けることで、生徒の「できた」体験につなげることも大切です。

分野別における学習アドバイスが示されます。生徒が自分の学習方法を振り返り、改善するきっかけになります。教科面談等にも活用できます。